

# かわたな民報

第136号

2012年7月

日本共産党川棚支部

町議会議員 久保田かずえ

電話(83)23398

新しい視点 展望しめず  
しんぶん 赤旗  
日刊紙 月3,400円  
日曜版 月 800円

久保田かずえ町議は、2012年六月町議会で、難聴者福祉問題、介護保険制度問題、そして今、国民のもっとも大きな関心事の原発問題の三点について一般質問を行いました。

## 久保田町議

第一に、難聴者の認定基準を低くすることについて。

年齢とともに聴覚が衰える老人性難聴者は、全国で70歳以上の半数、2千万人と推定される。70デシベル以上の聴覚損失者は障害者と認定されるが、WHO、日本耳鼻咽喉科学会、全日本難聴者・中途失聴者などは、認定基準を低くするように求めている。基準を低くすることにより、早期対応ができればコミュニケーションがとれて、人生を楽しく継続でき、孤立化を防



久保田かずえ町議

ぎ、認知症予防にもなり、医療費の削減にもつながる。認定基準を引き下げる考えはないか尋ねます。

## 町長

全国において、軽度、中程度の難聴のある子に対し、自治体独自に認定基準を引き下げて補聴器の購入を支援する動きがあるようだ。長崎県内においては、市町独自で認定基準を引き下げて補聴器の購入の支援を実施しているところは、現在のところ無いようだ。したがって、本町独自で基準を引き下げて補聴器の購入に対する支援をする考えはない。

## 久保田町議

ふれあいサロンや、老人会の催しものは、引きこもりの高齢者を作らないということが目的で実施されていると思う。しかし、聞こえないことで仲間に入りたくても入れない実態がある。前向きに取り組んでもらいたい。

次に難聴者用磁気ループシステムの設置について。役場の窓口で職員との会話

## 町長

が周囲を気にすることなくプライベートも守られて不安なく聞くことができる。また、講演会など、多くの人が集まる場所には施設にあった機械で、雑音のないきれいな音が聞くことができる。聞えを解消して快適に人生を送られるように、磁気ループシステムを設置する考えはないか尋ねます。

## 町長



役場の窓口を設置した場合、窓口全体を一括して、エリアを形成しなければならず、他の窓口の内容まで音声を拾うことになり、そのことがプライバシーが守れない危険性がある。しかし、簡易型カウンター式であれば、対面の対応となり、設置する場所さえ確保できれば設置は可能と判断できる。しかし、現状では設置する考

えはない。今後、調査研究してみたい。

講演会場への設置についても、設置効果は期待できるものと判断できるので、講演会場に問わず、会議などについても設置費用など含めて、今後調査研究してみたい。

## 久保田町議

カウンター全部に取り付けるのではなく、移動式のもの福祉の窓口や、高齢者の方が主に利用するところにまず設置してみることを試みてもらいたい

## 町長

第二に介護保険制度について。介護保険利用による住宅改修費の受領委任方式の採用について。

在宅で介護する際に備えて比較的小規模の改修を対象にした助成制度がある。

20万円を上限に、現在は利用者が一旦全額を払った後に、9割が戻ってくるという償還払い方式になっている。高齢者の独り暮らしや、高齢者同士の世帯が増える中で、手続きが簡素で、1割を準備すればよい受領委任払方式を導入する考えはないか。

## 町長

そういったニーズがあるのか、あるいは他市町で実施されているので、施工業者の事務負担等についても町内のケアマネージャー等の会議の折に協議、検討してみたい。

## 久保田町議

高齢者同士、一人暮らしに比べて、書類の申請は大変な作業です。受領委任方式は、1割用意すれば良いので利用者の負担は軽くなるのでは。

## 町長

受領委任払をしても手続きの簡素化にはならない。受領委任払にすれば全額を一時的に支出する必要がなくなるので負担の軽減には繋がると思う。他市町でも実施されているので前向きに検討してみたい。



7月5日の平和行進  
右が久保田かずえ町議